

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年12月10日（木） 19時から21時
会 場	中野区役所7階 第10会議室
テ ー マ	令和3年度予算で検討中の主な取り組み（案）について
出席者 区 民	計 15人 （男 9人、女 6人）
区 側	区長、教育長、各部長、企画部参事（企画担当）、基本構想担当課長、財政課長
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
区長の回答・見解	
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、様々な面で影響を受けた。 区内経済が落ち込んでおり、歳入の落ち込みが予測される。 貧困家庭や生活が苦しい人を支えていかないといけない。すべての区民の暮らしを支えないといけない。 日々の生活における意見をいただければと思う。</p>	
区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解
<p>旧中野刑務所正門について、経費をかけて曳家を実施する必要性を問う。現在のところで保存ということやってほしい。</p>	<p>現地での保存は、平和の森小学校の新校舎の設計に支障があり、また、正門を文化財として公開していく点で難しいものがある。 正門の保存及び公開、そして平和の森小学校新校舎における良好な教育環境の確保を図るため、正門は曳家により移築する。</p>
<p>旧中野刑務所正門は、いまある場所に置くべきである。過去の日本の文化を代表する人々が収容されていた場所で簡単に壊してはならない。あの門をくぐって、校舎に入っていく校舎でも良いのではないか。</p>	<p>現地での保存は、平和の森小学校の新校舎の設計に支障があり、また、正門を文化財として公開していく点で難しいものがある。 正門の保存及び公開、そして平和の森小学校新校舎における良好な教育環境の確保を図るため、正門は曳家により移築する。</p>
<p>キャッシュレス推進について、短期的には効率化されて時間が削減されるといういい面もあるが、区の問題と言うより、国の設計の問題かもしれないが、利用事業者は、3%くらいの手数料が取られる。小規模事業者にとっての中長期的な影響を考えると実施すべきではないか。</p>	<p>実際に店舗から、手数料について負担に感じるという意見は出ている。普及が進まない理由に繋がっていると考えられ、今後、キャッシュレスに必要なインフラを安く提供する動きが出てくるのではないかと考えている。商店街や役所で使えることで、利便性が向上する。 また、小銭を出すのが大変だとの声を聞いている。キャッシュレスを進めればそうした負担が軽減されるのではないかと考えている。 今年度はブロードウェイ商店街で、キャッシュレス推進に取り組んでいる。</p>
<p>中野駅東口の開発予定は無いのか。ニーズがあると思っている。</p>	<p>中野駅はエレベーターが無いので、まずは西口整備を進めて、誰でも利用しやすい駅にしていきたい。東口については、ニーズがあることは承知しているので、中野駅周辺の回遊性向上に向けた取組の1つとして、検討していきたい。</p>
<p>駅周辺の再開発に伴い、自転車を置く場所が無くて困っている。</p>	<p>駅周辺全体での駐輪台数の計画があり、開発後においても必要な台数を確保する考えである。ただ、開発の過程においては各駐輪場の位置や台数に変更が生じるため、わかりやすい周知等をしていきたい。</p>
<p>地域学校協働活動の推進について、全校一斉に実施するのは難しいと思われる。いくつかの学校で先行して実施し、検証したうえで、全校展開すべきではないか。</p>	<p>地域学校協働の制度導入にあたっては、現行の学校支援ボランティア制度の再整理や、各学校とその地域により違いがあることを踏まえて実施する必要があるため、来年度検討していくこととしている。全校一斉に実施する方向では考えていない。</p>

区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解
<p>子ども・若者支援センターについては、場所が中野坂上駅の方であるが、地理的に距離のある施設もあり、教育委員会などとの連携が心配である。しっかり連携がとれるようにしてほしい。</p>	<p>子ども・若者支援センターには、子ども家庭支援センター、児童相談所と併せて教育センターが移転することとなる。就学相談等も当該施設で実施する形となるため、円滑な連携を図っていく。</p>
<p>子どもの権利擁護条例は、条例に対する区民の理解がないと意味をなさないと考えている。令和2年度は啓発事業の実施を見送っているが、令和3年度は実施するか。</p>	<p>条例をつくるだけではなく、区民に理解していただくことが大切であると考えている。 令和2年度の啓発事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施を見送ったところである。令和3年度は工夫して実施していきたい。</p>
<p>学校再編に伴う新校舎の建設は、断熱による環境や子どもの健康への配慮をして進めてほしい。</p>	<p>新校舎については、児童生徒にとって快適な教育環境の確保とともに環境へも配慮した設備で整備を進めている。</p>
<p>子ども配食事業について、区民ニーズの把握はどのように行うのか。家庭の貧困状況等、本当に困っている人はなかなか把握が難しいと思われる。</p>	<p>子ども配食事業は、子ども家庭支援センターにおいて、子ども家庭相談の支援策の一つとして今年度より実施している。対象者は、要保護児童対策協議会や個別の支援の中で把握している。生活に困っている方等、地域で気になったことがあれば、子ども家庭支援センターにご連絡いただき、生活困窮世帯等食事の支援が必要な家庭に対応できるようにしていきたい。</p>
<p>(介護保険指定事業者等管理システムクラウド版新規導入について)在宅ワークもできるのか。クラウド版の理由は、介護の場合、隠しておきたい個人情報も多い。どう運用するのか。</p>	<p>本システムは都と各区との内部管理事務の連携に用いるシステムであり、行政間のみの専用ネットワークを用いている。個人情報については、一般のネットワークとは切り離されているため、その安全性は確保されている。多くの自治体が関わっているため、クラウド版となっているが、区職員の庁舎外での利用は想定していない。</p>
<p>水害対策について、大型台風は首都直下地震よりも来ることが予測しやすいと思っている。下水道局にも積極的に働きかけてもらいたい。</p>	<p>水害対策について、東京都下水道局や河川部と連携しながら推進していきたいと考えている。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策について、中野区の重症患者がどのくらいいるのか、感染拡大防止に取り組むためにも公表して欲しい。 外食産業のガイドラインが、どのくらい徹底されているのか、教えてもらいたい。</p>	<p>東京都全体の重症者数は、病院が直接東京都に報告し、東京都が公表している。中野区の重症者数は区として把握していないため、公表できない。 新型コロナウイルス感染症と診断された方のうち重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方である。若い方でも重症化のリスクとなる基礎疾患がある場合には注意が必要である。重症者数の数に関わらず、感染防止に取り組んでいただくとありがたい。 ガイドラインの遵守状況については、区民からの情報提供に応じた個別確認に加え、食品衛生協会を通じた注意喚起を行っている。</p>
<p>東中野駅東口はエレベーター・エスカレーターが無く、階段しかない。JR側の問題かも知れないが、区としても補助を出す等して、エレベーター設置等を進めてほしい。</p>	<p>区としてもこれまで調査検討をしてきているが、降り口の確保ができない等の課題があり、今すぐにエレベーター等を設置することは難しい。 長い目を見て、駅の周辺まちづくり・都市計画を考えていく必要があると考えている。</p>

区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解
<p>緊急輸送道路沿道以外でも、補強や設計の助成を進めてほしい。他区では、区民が組む長期ローンに対して援助を行う方法もとっている。</p>	<p>今年度から木造住宅の補強助成を実施している。事業を進めるに当たり、より利用しやすい制度設計を目指して、研究していきたい。</p>
<p>なかの生涯学習大学の再編について、卒業生が小学校で朗読を行う朗読の会がある。なかの生涯学習大学がなくなってしまうとそのような活動がなくなってしまうため、残してほしい。また、地域と学校の連携という意味でも生涯学習大学は今後どうなるのかお聞きしたい。</p>	<p>なかの生涯学習大学は定員200名に対し、応募が100名程度という状況である。地域でさまざまな団体や人材が活躍するための支援が急務となっている。こうした状況をうけ、生涯学習大学を再編する検討を進めている。NPOなど地域のさまざまな団体と連携して活動する人たちをしっかりと育てていきたいと考えている。朗読の会の活動については維持できるように考えていく。</p>
<p>子ども配食事業について、自分は子ども食堂を運営しているが、比較的裕福なご家庭の利用が増えている。そういったご家庭に利用いただくことは児童虐待防止に寄与できている部分もあると思うが、食を通して子どもを支援するという本旨を実現するためにどうしていくべきか、区の視点からアドバイスや支援をいただきたい。</p>	<p>子ども食堂を実施する際、どういった方をターゲットにするのか、設定が難しいと思う。団体によっては、貧困家庭に向けた支援として周知しつつ実施しているが、利用する側からすると貧困であることが周囲に知られてしまうということで、利用しづらい状況がある。そうした中でも、目的をしっかりと設定することが大切であると考えている。区では補助金を含め団体への支援をしているので窓口で相談をしに来てほしい。</p>
<p>第二中学校のプール開放について、利用時間1時間は短い。冬になると厚着する。1時間の中には着替えの時間も入っている。障害者の指導員もやっているが、障害者がしっかり取り組む場合、2時間は必要。1時間ではやれない。使い勝手が悪いと思う。だから利用者が減少傾向にあるのだと思う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、利用時間の制限をさせていただいている。制限を緩和することについては、状況を見ながら判断させていただきたい。</p>
<p>子育て先進区を実現するには、児童館を中心とした取組が必要とされているため、児童館は区の直営であるべきで、そこには一定の経験がある職員が必要と考える。職員の経験を養うため、来年度より児童館に専任の職員を配置する予定はあるか。</p>	<p>児童館の地域見守り機能については、職員が担っていく必要があり、そのためには福祉職の職員を区の中でどのようにローテーションして育成していくかが重要と考えている。また、現在の児童館運営においては、施設管理に職員のマンパワーが割かれているため、こうした状況を見直し、本当に職員がやるべき業務を職員がしっかり担えるようにしていく必要がある。</p>
<p>新学習指導要領では、地域に開かれたカリキュラムということが示されているが、教育委員会としてどのように考えているか伺いたい。</p>	<p>中野区の教育は、地域との関わりが深いという特長があり、開かれた学校としての取組は進んでいる。 新学習指導要領では教育課程を地域と作っていくという方向性が示されていることを踏まえ、地域と学校との連携・協働を一層進めていく地域学校協働活動を推進し、それぞれの学校がそれぞれの地域に合わせた特色ある教育が行われるよう取組を進めていきたいと考えている。</p>
<p>是非少人数学級を実現してほしいと考えているが、再編統合を進めていく中で、物理的な課題があると思う。どのように考えているか。</p>	<p>少人数学級については、文科省が推進しているものであり、教育長会としてもその方向で進めたいと要望してきたところである。ご指摘の点も踏まえながら、新校舎の整備を進めている。</p>

区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解
<p>構造改革の8つの視点と書いてあるが、全体的に見ると、縮小・廃止という文言が多い。基本構想をせっかく作って、新しい中野を作っていくという時に、寂しいのではないかと。構造改革の見直しも検討してもらいたい。</p>	<p>区民の安全・安心な暮らしを確保し、財政的な非常事態に対処するとともに、基本構想で描く10年後に目指すまちの姿を実現していくために、区政構造改革に取り組み、持続可能な区政運営を目指していく。</p>
<p>外国籍の区民、LGBTQへの取組が感じられない。</p>	<p>引き続き外国籍の区民や性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくした理解を深めるために取組を進めていく。なお、性的マイノリティ対面相談を月例化して実施しているところである。 そのため、新規事業として項目出しはしていないが、引き続きやっていく。相談事業も昨年度から継続して行う。</p>
<p>他区では子宮頸がん・乳がん検診が無料だったのに、中野区では1,000円かかる。中野区には单身者も多いと思うので、单身者の区に対する満足度を高めるためには、そういった細かい部分での取組が必要ではないか。</p>	<p>子宮頸がんや乳がん検診などの区民健診の受診に際しては、健診費用の一部を区民にご負担いただいているが、金額は低廉に設定している。 また、住民税非課税世帯や生活保護世帯の方等については、自己負担金を免除しており、单身者をはじめ、より多くの区民に健診を受けていただけるような取組を推進しているので、ご理解を賜りたい。</p>
<p>ゼロカーボンシティの実現をお願いしたい。市民協働型でやっていくのがいいと考えている。環境問題に取り組んでいる区民を人材として活用してもらいたい。</p>	<p>ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいく考えである。環境問題は区役所だけで解決できない問題であり、区民の皆様の知恵をお借りしながら一緒に取り組んでいきたい。</p>
<p>マンションのスラム化の問題については、他区では条例を設置し、予防に取り組んでいる。中野区でも条例を制定して、対策してほしい。</p>	<p>現在、区は「東京におけるマンションの適正な管理の促進に関する条例」に基づいた管理状況の届出を受け、管理状況に応じ専門家を派遣し管理不全に陥らぬよう助言等を行っている。管理不全等の予防の観点から、早い段階より分譲マンションの適正管理に関する意識の啓発を図るとともに、建て替えや管理に関する相談を引き続き行っていく。</p>